



ヘルパンギーナ

○どんな病気？

春から秋(特に夏)にかけて流行するウイルスのかぜです。主にコクサッキーウイルスが原因で、高熱と口内炎が主な症状です。

○感染経路：・飛沫感染 ・糞口感染 ・接触感染

○潜伏期間：2～5日間

○おもな症状は？

・突然高い熱から始まり、38～40度の高熱が2～3日続きます。喉の奥に痛みを伴う口内炎や小さな水泡ができます。喉の痛みが強くて、食事や水分がとりづらくなったり、不機嫌になったりします。

・原因ウイルスが数種類あるため、1シーズンに2回かかることもあります。

○治療方法は？

ウイルス性の感染症のため、対症療法となります。

喉の痛みが強く、水分が取れずに点滴をしないといけないこともあります。刺激の少ない水分・食事を工夫し、脱水にならないように注意してください。

豆知識：水分は麦茶、スポーツドリンク、ジュース、経口補水液などなんでもかまいません。また、食事のかわりに、プリンやアイスクリーム、ゼリー、氷のかけら、すいかなど、のど越しの良い、しめないものを与えてください。お子さんが好きなものが一番たべてくれるでしょう。

○登園・登校はいつから？

解熱し、水分・食事がとれるようになったら登園・登校できます。



さくらキッズクリニック
sakura kids clinic